

京都工芸纖維大学 繊維科学センター「第10回大阪地区講演会」

「QOLを支える纖維」

近年、我々の健康に対する意識が高まる中で、「クオリティ オブ ライフ (QOL)」という言葉が日常的に使われるようになってきました。その中でも注目されているのが、ヘルスケア技術の進化です。纖維では、抗菌・防臭効果のある纖維のほか、体温調節をサポートする素材などが開発され、衣類を通じて健康をサポートする新しい形のヘルスケアが実現しています。また、ウェアラブルデバイスと組み合わせた「スマート纖維」も登場しており、心拍数や呼吸数などをリアルタイムで測定できる衣服が開発されています。これにより、病気の早期発見や運動管理など、個人の健康維持に大きく貢献することが期待されます。このように、「纖維」は単なる衣料素材にとどまらず、未来の QOL 向上を支える重要な分野へと進化している状況を鑑みて、第10回大阪地区講演会では、纖維と生活の質について考える講演会といたしました。本学のメンバーによる研究成果の紹介に加えて、ヘルスケア産業界が注目する視点、および関西地域の施策について特別講演を企画いたしましたので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日 時： 2026年2月27日（金）

13:20-17:15 （13:00 受付開始）

場 所： 編業会館 新館7階大会場 (<http://mengyo-club.jp/access/>)
〒541-0051 大阪市中央区備後町2丁目5番8号
TEL:06-6231-4881(代) FAX:06-6231-4940

定 員： 100名

参加費： 無料

協 賛（予定）： 一般社団法人纖維学会 一般社団法人日本纖維製品消費科学会
一般社団法人テキスタイル俱乐部 協同組合関西ファッショント合
一般社団法人日本纖維機械学会 地方独立行政法人京都市産業技術研究所
一般社団法人日本纖維技術士センター
ダイセン株式会社（纖維ニュース） 株式会社纖研新聞社（纖研新聞）

【プログラム】

13:20-13:30 開会の挨拶

京都工芸纖維大学長 吉本昌広

13:30-14:20 学術講演

「心地を科学する」

信州大学纖維学部教授 吉田 宏昭 氏

14:20-15:20 京都工芸纖維大学の研究紹介

「新規造形技術を用いた医療用ステントやチューブの製造」 繊維学系准教授 徐淮中
「暑さに挑む—熱中症予防とヒト実験から探る被服による対策」 基盤科学系准教授 山下直之

15:20-15:30 休憩

15:30-16:20 特別講演

「ファインファイバー技術の開発と化粧品への応用」

花王株式会社加工・プロセス開発研究所主席研究員 東城 武彦 氏

16:20-17:10 特別講演（オンライン）

「次世代ヘルスケア産業の創出（仮題）」

経済産業省商務・サービスグループ ヘルスケア産業課

17:10-17:15 閉会の辞

京都工芸纖維大学纖維科学センター長 奥林里子

●意見交換会

講演会後、意見交換会を行います。是非ご参加下さい。

時 間：17:30-

場 所：綿業会館 本館 1 階会員食堂

参加費：3000 円



●参加のお申込み

WEB で直接お申し込みください。

参加申込アドレス：

申し込みサイト

<https://www.kit.ac.jp/application/view/index.php?id=353130>

「繊維科学センター」でご検索下さい

●お問い合わせ先

«京都工芸繊維大学 繊維科学センター»

住所：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1

電話番号： 075-724-7701

FAX 番号： 075-724-7705

e-mail アドレス： fiber@kit.ac.jp

申込締切日：2月16日（月）（ただし、定員になり次第、締め切らせていただきます。）